

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	そら		公表日		令和 7 年 4 月 28 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・児童が過ごしやすい環境を確保し、空間を用途別に分けるなど工夫を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・支援の質を維持するため、状態に応じた人員配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・わかりやすい視覚支援を実施。	・現在バリアフリーに該当する児童がいない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・活動内容によっては公民館を借りて活動するなどしている。 ・定期清掃・換気の徹底を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・クールダウンエリアなど必要な場所を確保。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・PDCAサイクルを活用し、支援計画の継続的な見直しを実施。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者の意見を収集し、サービス改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員の意見を取り入れる仕組みを整え、業務改善に活用している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		・現在の所、第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・地域で行われる講習も参加している。 ・職員の研修を都度実施し、学びやスキルアップの機会を確保する事に努めている。 ・外部研修の機会も設けられている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・支援プログラムを作成し、児童や保護者に説明し、公表している。	・一人一人の課題を明確化し、その課題に向けて支援が行えるよう努力をしていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・アセスメントを行った上で、こどもの一人一人の特性に応じた計画を策定できるよう努めている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・職員が連携しながら、子どもの最善の利益を考慮した支援を実施している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・支援計画を職員間で共有し、統一した支援を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・活動プログラムを職員間で月事や週事に検討し計画を立てて実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・各児に合わせてプログラムを考えている。 ・定期的に内容を見直し、意見や案を都度、職員間で出し合っている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・職員間で情報を共有し、連携のとれた支援ができるよう努力を行っていく。 ・支援開始前に職員間で打ち合わせを行い、連携強化を実施。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・職員間で情報を共有し、連携のとれた支援ができるよう努力を行っていく。 ・振り返りを行い、改善策を共有している。 ・気になる事があれば都度報告しあって話している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・疑問に思う事は都度話し合いを行い、職員間で連携を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・都度保護者と連携をとりながら、職員間でも話し合いを行い、必要に応じて見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		・支援センターの連携先を探している。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・保護者と連携し、子どもの発達状況や支援内容の共有を行っている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・地域で研修が行われる際は、保護者へプリントの配布を行い、その情報提供を行っている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		・分かりやすい説明を心掛け、理解を促進していくよう努める。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・子どもや保護者の意向を確認した上で作成をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・必要に応じて随時面談や電話で話を伺っている。	・保護者の方が気軽に連絡をしやすい場となるように今後も努めていく。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・父母の会はないが、保護者同士の交流の場は設けられている。 ・行事の中に保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を組み込んでいる。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		・今後も迅速に対応できる体制を整備していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・見やすく、わかりやすい情報を保護者に発信できるように努めている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報の取り扱い基準を明確にし、職員全員に周知。また、個人情報を含む書類は施錠可能なキャビネットにて保管をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・「展覧会」や「感謝の日」など、地域の人を招いたイベントを開催し、子ども達も地域の方々と交流をしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各マニュアルを整備し、定期的な訓練も実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・事業所内での避難訓練はもちろん、保護者と共に災害時伝言ダイヤルを使った訓練等も実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時にアセスメントをとり、状況を確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・医師の指示書や保護者との連携のもと、適切に対応を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・職員で共有しながら、同じことが再び起こらない様、対策を検討し、実施をしている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止の為の研修会への参加や、事業所内での勉強会を開くなどし、適切な支援体制を整備している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			